

事業の背景・目的

平成28年に市内でクビアカツヤカミキリ（以下、当該虫）が確認され、その後拡散し、食害により樹木が衰弱・枯死し、花や葉の付きが悪くなる景観破壊、枝折れや倒木による住民への二次被害が懸念されている。
本事業の目的は、当該虫による被害の抑制、当該虫の拡散防止を図り、市内の自然環境及び生物多様性の保全に貢献することを目的としている。

事業の内容

事業① 啓発事業

- ・啓発用チラシの作製及び配布
「クビアカみっけ隊」チラシを作製し、市内小学校3・4年生に配布し、啓発した。
- ・防除用殺虫剤等の補助
民地に対する防除指導の際に、防除指導歴がない場合に限り、1民地1本の薬剤を配付。また必要に応じて、防虫ネットを配付した。

事業② 被害木認定委託業務

- ・被害木の認定、防除指導の外部委託
民地に対する被害木認定及び防除指導を市職員が行ったほか一部をシルバー人材センターに業務委託し、早期の対応を図った。

事業③ 被害木伐採委託業務

- ・市有施設等の被害木の伐採
被害が進行し、回復が困難な被害木について、トリアージを実施し、その優先度の高いものから順次伐採を行った。

得られた成果

- 被害域拡大防止のため被害域外周の薬剤による樹幹注入を行った。並行し、市職員はもちろんクビアカみっけ隊隊員各々が主体的に当該虫発見駆除を行い、サクラ等樹木の保全に努めた。一方で、民有地、市有地の回復困難と認められた被害木を31本伐採処分した。
- ・被害報告のあった民有地に対しては、防除指導を実施し防除指導歴がない場合に限り1民有地1本薬剤を配付した。
 - ・被害木の認定、防除業務は一部を外部委託したことにより、速やかに対応することができた。
 - ・当該虫防除ボランティア「クビアカみっけ隊」の募集チラシを市内小学校3・4年生に配布した効果として新たに58名隊員が増加し、防除体制強化の一助になった。

